

の創造への貢献をめざしている。その実現に向け、事業活動による環境負荷の削減と技術・イノベーションの創出を通じて、環境問題の解決と経済発展の両立を図るとしており、「社会が脱炭素化している未来へ」「資源が循環している未来へ」「人と自然が寄り添う未来へ」という3つのチャレンジを推進している。

まず、「社会が脱炭素化している未来へ」のチャレンジにおいては、IOWNの導入や再生可能エネルギーの開発・利用拡大等により、NTTグループの事業活動及び社会における温室効果ガス削減に取り組んでいる。

具体的には、①自らの脱炭素の推進(省エネ推進、IOWN導入、再エネ開発・利用拡大、技術創出)、②サプライチェーン全体の脱炭素の推進、といったアクティビティを掲げている。

これらの取り組みの指針となるものが、2021年に策定された環境エネルギービジョン「NTT Green Innovation toward 2040」である。NTTグループは同ビジョンのもと、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進している。2030年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比で80%削減し、モバイル及びデータセンターのカーボンニュートラルを達成することをめざしている。さらに、2040年度までには、グループ全体のカーボンニュートラルを実現する計画である。

次に、「資源が循環している未来へ」のチャレンジにおいては、消費型経済から循環型経済への転換に向け、製品・システムの調達から利用・廃棄に至るまでのライフサイクル全体を通じて、資源を有効利用する取り組みを推進している。

具体的には、③通信設備・携帯端末等(金属、プラスチック等)のリユース・リサイクルの推進、④有害廃棄物の適正な処理、保管・管理徹底、といったアクティビティに取り組んでいる。NTTグループは、これらの取り組みを進めるにあたって、事業活動で消費する資源の削減(Reduce)、再使用(Reuse)、再資源化(Recycle)の「3R」を推進している。その一環として、持続可能な社会の実現に向け、2030年度までに廃棄物のリサイクル率を99%以上とすることを掲げている。

さらに、「人と自然が寄り添う未来へ」のチャレンジにおいては、事業活動及び社員活動を通して自然に寄り添い、生態系保全に関する取り組み(自然資本への配慮)を推進している。

具体的には、⑤生物多様性や生態系・森林保全の推進、⑥水資源の適切な管理、といったアクティビティに取り組んでいる。

NTTグループは、通信設備の設置や運用が自然環境に影響を及ぼす可能性を認識し、事業活動及び社員活動を通じて、生態系保全に努めている。

今後も、持続可能な社会の実現をめざして、生物多様性

の保全や循環型社会への転換に向けた取り組みを強化し、社会全体の環境意識向上に貢献していく。

(2)「文化(集団・社会～国)」の共栄(安心・安全、レジリエントな社会)

NTTグループサステナビリティ憲章では、民主的で多様な文化を認め合いながら発展する社会と価値創造への貢献をめざしている。そのために、あらゆる人・モノ・文化(集団・社会～国)を高い倫理観とデジタルの力でつなぎ社会課題の解決に貢献するとしており、その実現に向け、「倫理規範の確立と共有」「デジタルの力で新たな未来を」「安心・安全でレジリエントな社会へ」という3つのチャレンジに基づく活動を実施している。

まず、「倫理規範の確立と共有」のチャレンジにおいては、自らも倫理観を高めつつ、ビジネスパートナーと高い倫理観を共有する取り組みを進めている。具体的には、⑦倫理規範(コンダクトリスク含む)・コンプライアンス・ガバナンスの強化徹底、⑧ビジネスパートナーとの高い倫理観の共有、といったアクティビティに取り組んでいる。これらの取り組みの行動指針となるのが、法令遵守と高い倫理観を持った事業運営を推進するために制定された「NTTグループ企業倫理規範」である。NTTグループはこの規範に基づき、企業倫理・コンプライアンスの強化に取り組んでいる。

次に、「デジタルの力で新たな未来を」のチャレンジにおいては、デジタルトランスフォーメーションを牽引し、日本の少子高齢化、教育、健康・医療、地方活性化などの課題を解決し、新たな価値を次世代に提供している。具体的には、⑨お客さま(個人、法人、自治体等)が使い続けたいと思うサービス・サポートの継続改善、⑩知的財産の保護と尊重、といったアクティビティに取り組んでいる。

さらに、「安心・安全でレジリエントな社会へ」のチャレンジにおいては、デジタル社会の重要インフラを支える企業として、テクノロジーの力を駆使して、「自然災害」「デジタル災害(サイバー攻撃等)」「疫病」から安心・安全を守り、レジリエントな社会の実現をめざしている。具体的には、⑪サービスの安定性と信頼性の確保、⑫情報セキュリティ・個人情報保護の強化、といったアクティビティに取り組んでいる。これらの取り組みを通じて、お客さまや株主の信頼を確保するとともに、誰もが安心・安全にサービスを利用できる環境の提供をめざしている。

(3)「Well-being」の最大化(人権尊重、D&I、新しい働き方)

NTTグループサステナビリティ憲章では、「Self as We」の考えに基づき、すべての人々のWell-beingの最大化への貢献をめざしている。そのために、法令や社会規範遵守のもと、一人ひとりの人権を尊重し、Diversity &